

意見具申に向けた論点整理(案)

・奄美群島の振興開発に係る現状認識	P1
・主な論点	
(1)産業の振興	P2
(2)観光の開発	P3
(3)交通・情報通信基盤の整備、人流・物流の円滑化	P4
(4)生活環境の整備・定住の促進	P5
(5)防災	P6
(6)自然環境の保全等	P7
(7)教育及び文化の振興	P8
(8)デジタル技術の活用	P9
(9)奄美群島振興開発基金	P10

奄美群島の振興開発に係る現状認識

(1) 奄美群島振興開発の意義

- ・令和5年に本土復帰70年を迎える奄美群島においては、様々な不利性を克服するため、産業の振興や社会資本の整備、人の往来や物資の流通に要するコスト低減等の諸施策を実施。
- ・社会資本の整備が着実に進むなど一定の成果がみられるほか、平成26年度に創設された奄美群島振興交付金も大きく寄与。
- ・奄美群島は豊かな自然環境を有しており、生物多様性保全の観点から世界的にも重要な地域。また、多様で個性的な伝統文化や冬季の温暖な気候など、他の地域にない魅力・価値を有している。
- ・一方、本土との間に経済面・生活面の格差が残されているなど依然として課題が存在。加えて、近年も台風・豪雨による甚大な被害が発生しており、引き続き社会資本等の整備及び維持管理が必要。

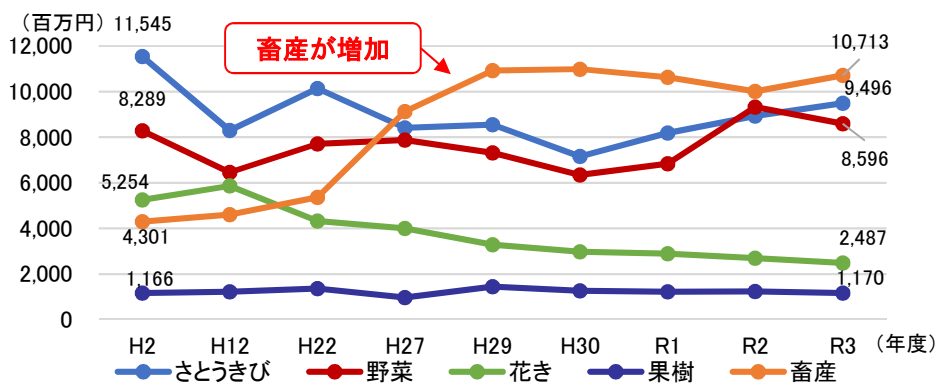
(2) この5年間の動き

- ・令和3年7月、奄美大島及び徳之島の一部が沖縄島北部や西表島とともに世界自然遺産に登録され、生物多様性について国際的な評価を獲得。
- ・新型コロナの影響で全国的に観光客が減少したものの、ワーケーションや地方回帰の流れ。
- ・新型コロナやウクライナ情勢等の影響による世界的な資源・エネルギー価格高騰に伴い、国内の物価も高騰。
- ・脱炭素社会の実現やデジタル田園都市国家構想が我が国の重要課題。
- ・日本を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す。

主な論点 (1)産業の振興

- 営農ハウス等の基盤整備に加え、畜産物も含めた農林水産物の付加価値向上、販路拡大、環境と調和した産地づくりの取組等に対する奄美群島振興交付金の活用
- 奄美群島から近く、重要なマーケットである沖縄への農林水産物の出荷を後押し
- 奄美黒糖焼酎や本場奄美大島紬等の奄美群島を代表する特産品に関する海外を含めた認知度向上や販路拡大
- 奄美ブランドの構築と価値向上に向けた長期的・戦略的な取組

主要作物の農業算出額の推移



出典: 奄美群島の概況

本場奄美大島紬の生産反数



出典: 奄美群島の概況

九州・沖縄県別 商品別販売額等(百貨店+スーパー)の比較

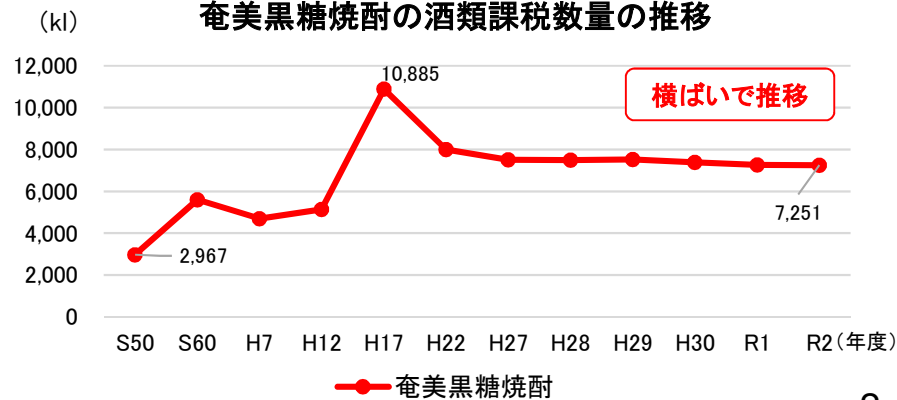
	飲食料品	食堂・喫茶
福岡	27,677	323
佐賀	3,728	5
長崎	5,521	17
熊本	7,532	137
大分	5,112	49
宮崎	3,290	18
鹿児島	8,101	111
沖縄	10,822	617

沖縄県は、福岡県に次いで「飲食料品」の販売額が大きい

(百万円)

出典: 経済産業省 商業動態統計調査(2023年1月分)第4表(2)都道府県別、商品別販売額等

奄美黒糖焼酎の酒類課税数量の推移

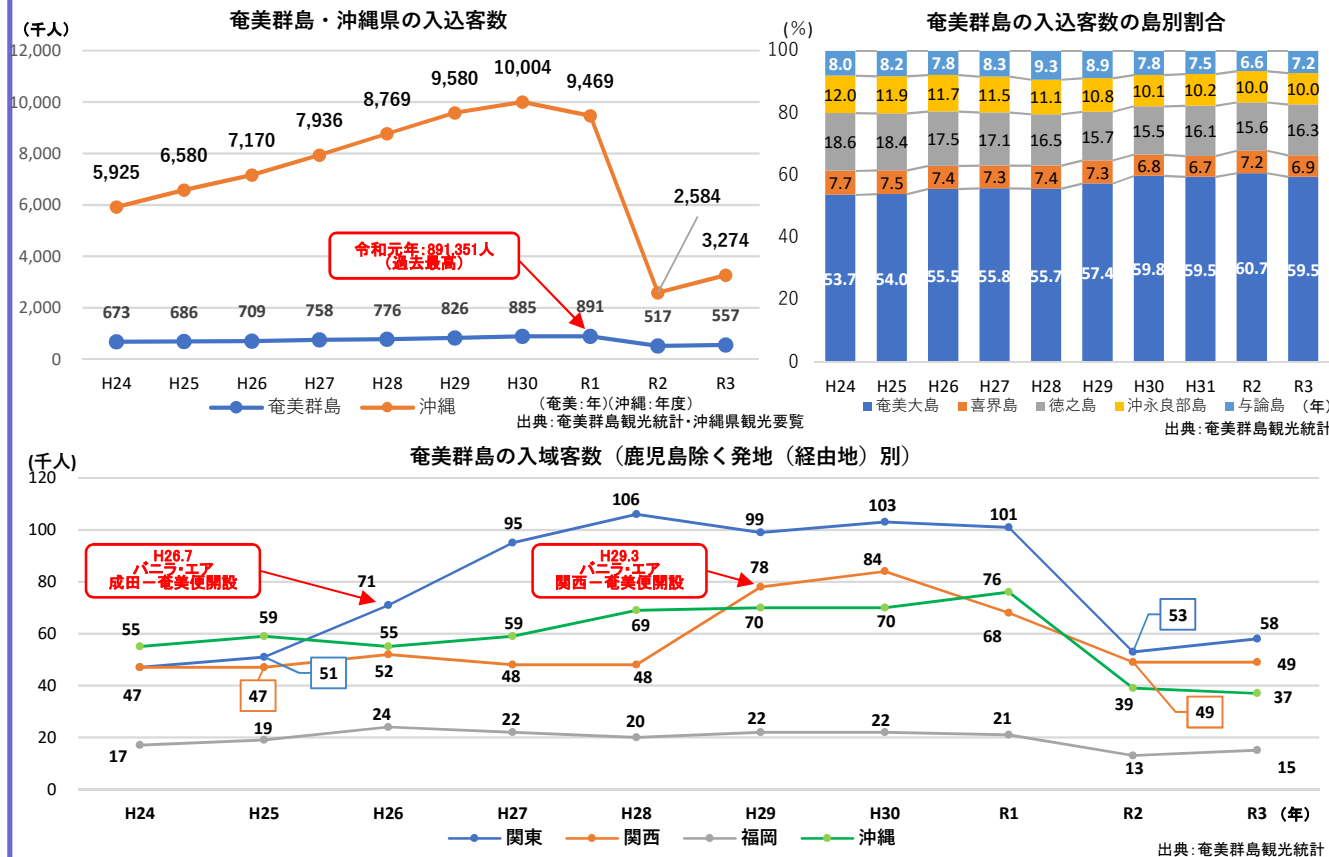


出典: 奄美群島の概況 2

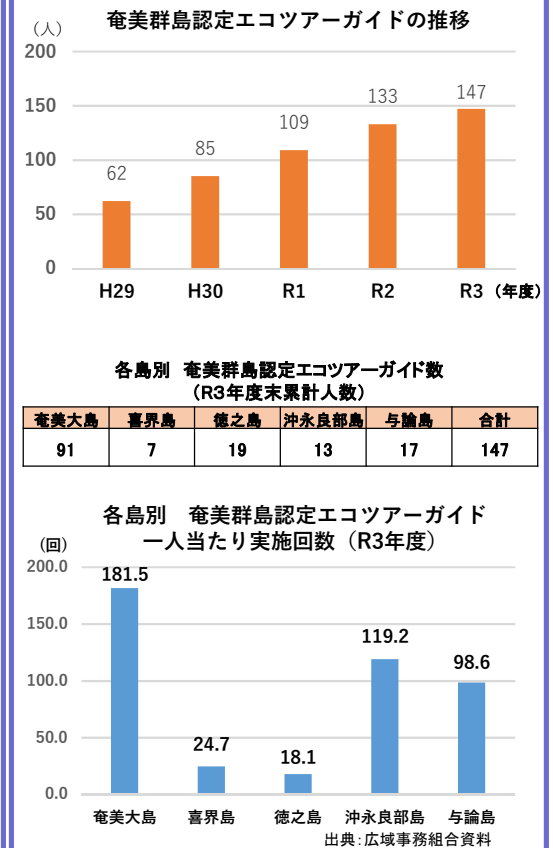
主な論点 (2) 観光の開発

- 世界自然遺産に一体として登録された沖縄と連携した誘客・交流促進
- 世界自然遺産登録による効果を群島全体へ波及させるため、群島内の周遊を促進
- エコツアーガイドの育成に加え、ガイドと観光客を結びつけるためのプロモーションの推進
- 観光推進と自然環境保全の両立に向けた独自ルールの策定や周知等、持続可能な観光振興

奄美周遊・沖縄連携観光の促進



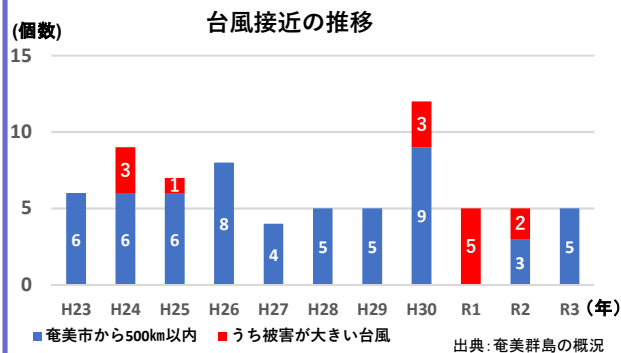
奄美群島認定エコツアーガイド



主な論点 (3)交通・情報通信基盤の整備、人流・物流の円滑化

- 欠航・抜港に伴う物資供給停滞による生活への影響を軽減するための港湾機能強化等の社会基盤整備
- 台風常襲地帯であることを踏まえ、生活関連物資の島内での安定的な備蓄の在り方の検討
- 奄美群島の人々の沖縄の医療機関や大規模商業施設の利用実態、与論町と国頭村の交流等を踏まえ、日常生活圏となっている沖縄との人的交流の一層の促進
- 条件不利性を解消するために必要な情報通信基盤の整備や維持管理に対する配慮

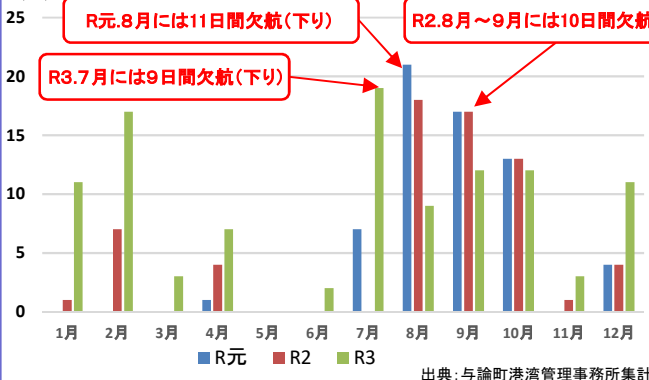
台風による生活物資の不足



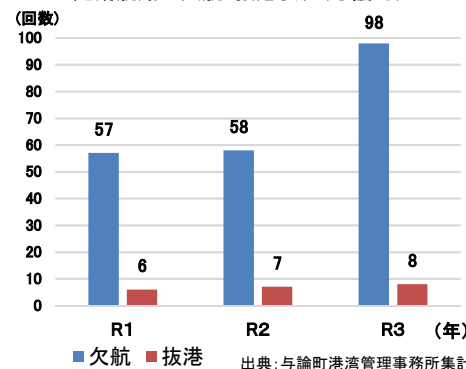
※定期航路欠航・抜港による生活物資の不足状況



定期船月別欠航・抜港の状況(与論町)



定期航路の欠航・抜港状況(与論町)



沖縄の医療機関の利用

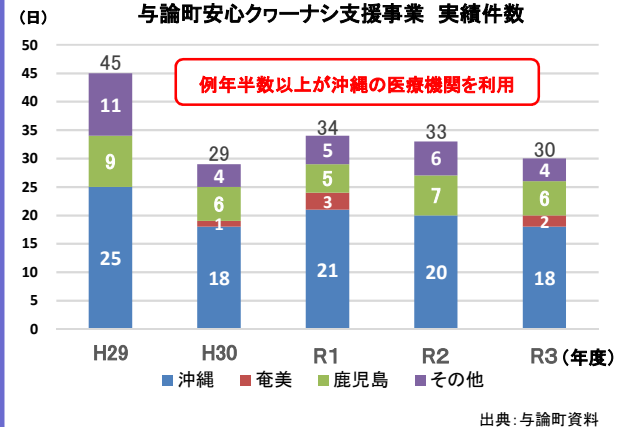
○安心クワナシ支援事業(与論町単独事業)

与論町は産婦人科がないため、島内で出産ができない。出産予定日の約1カ月前に島外へ行き待機する実態があることから、その費用の一部を支援するもの。

【支援概要】

- (1) 出産に備え、出産予定地の有料宿泊施設で事前待機する場合30泊を上限として一律一泊3,000円を助成
- (2) 出産に備え、島外の医療機関又は実家等で事前待機する場合、30泊を上限として一律一泊1,500円を助成

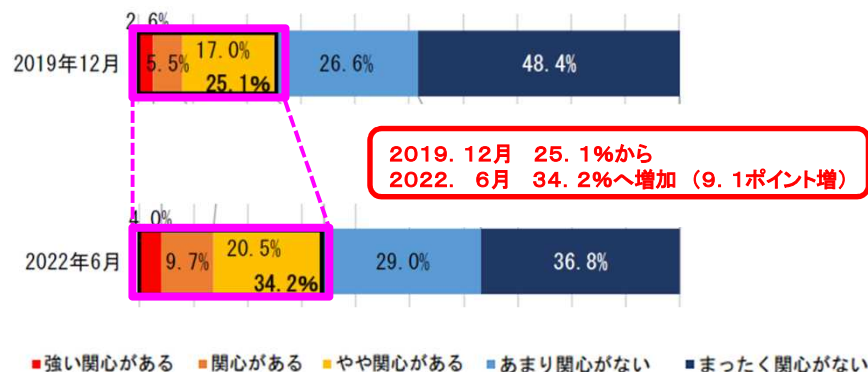
与論町安心クワナシ支援事業 実績件数



主な論点 (4)生活環境の整備・定住の促進

○地方移住への関心が高まる中、情報発信等、奄美群島への移住・定住を促進する取組に対する積極的支援
 ○移住希望者向けの住宅不足を踏まえ、増加する空き家の活用や除去を後押し

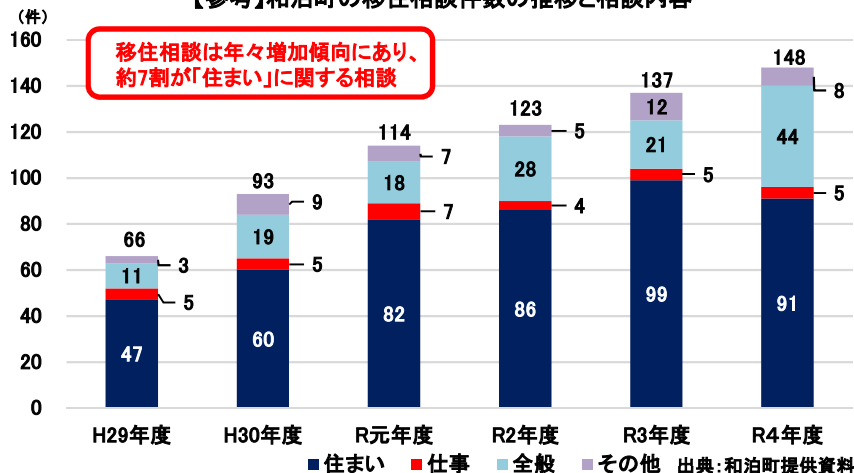
全国的な地方移住の機運の高まり(社会情勢の変化)



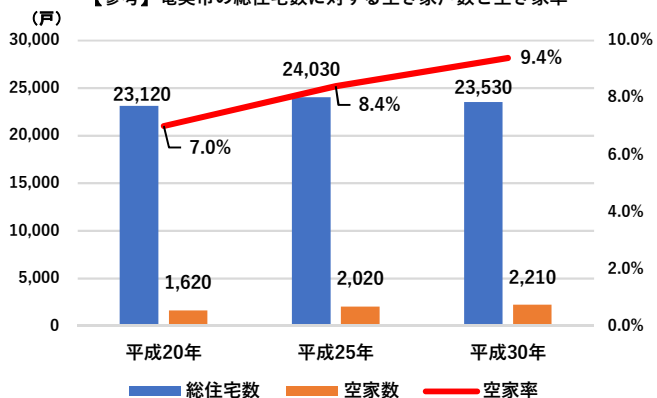
出典: 第5回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査(内閣府)

移住相談・住宅の状況

【参考】和泊町の移住相談件数の推移と相談内容

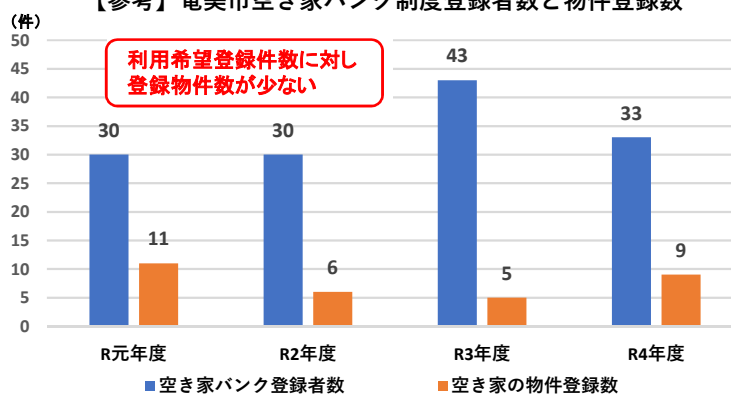


【参考】奄美市の総住宅数に対する空き家戸数と空き家率



出典: 奄美市空き家等対策計画(令和3年3月)

【参考】奄美市空き家バンク制度登録者数と物件登録数



移住相談受付後、実際に移住につながらなかった事例の理由について、各市町村移住相談担当課へヒアリングを行ったところ、すべての市町村において「紹介できる住宅が少なかった(なかった)」との回答が最も多かった。

主な論点 (5)防災

○道路、河川、砂防、港湾、空港、海岸の防災事業や無電柱化等、災害に強い社会基盤の整備

奄美地域における無電柱化計画

離島・奄美地域における無電柱化推進事業箇所図



○計画期間 2021～2025

県道

町道



(主) 知名沖永良部空港線
和泊工区 L=1.3km

町道 与名原平線
L=0.2km

(主) 与論島循環線
茶花工区 L=1.6km

町道 窪舎1号線
L=0.2km

※台風による電柱倒壊状況



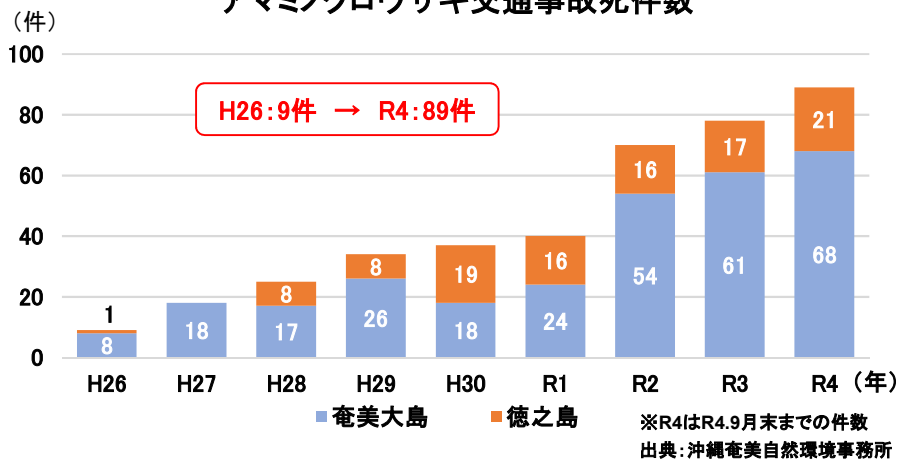
出典: 鹿児島県資料

主な論点 (6) 自然環境の保全等

○ 国立公園に指定され、世界自然遺産に登録されるなど、世界共通の宝として認められた奄美群島の貴重な自然環境を守り、受け継いでいくため、ロードキル対策や外来種駆除等、自然環境の保全及び再生に関する取組の継続的支援

ロードキル対策

アマミノクロウサギ交通事故死件数



奄美大島の湯湾岳の一部の道路区間に施工された進入抑制フェンス

(第44回世界遺産委員会決議44COM8B.5に係る奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の保全状況報告)

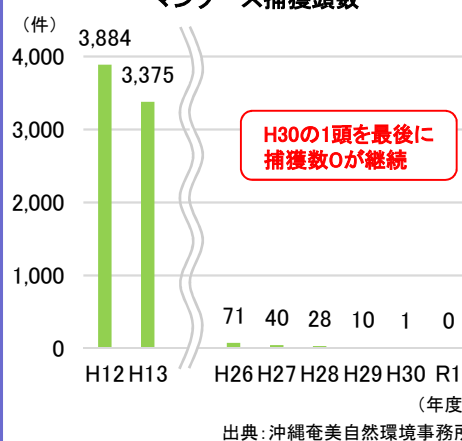


アマミノクロウサギ交通事故防止キャンペーン

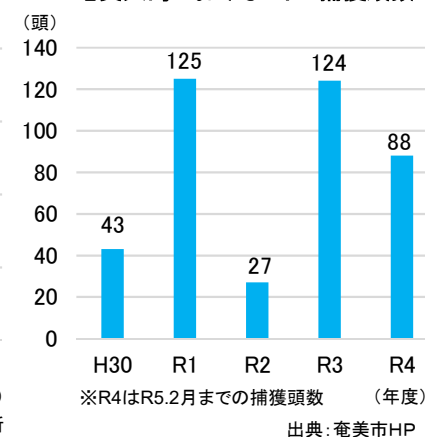
(奄美野生生物保護センター)

外来種対策

マンガース捕獲頭数



奄美大島におけるノネコ捕獲頭数



【地域との協働による外来植物の駆除】



住民によるアメリカハマグルマの駆除活動

出典：令和3年度奄美群島における観光戦略に向けた検討調査業務報告書(国土交通省国土政策局)



建設業協会による斜面上のツルヒドリの駆除

出典：令和3年度奄美群島における観光戦略に向けた検討調査業務報告書(国土交通省国土政策局)

主な論点 (7) 教育及び文化の振興

○先人達が育んできた奄美固有の文化や歴史を次世代に繋いでいくため、郷土教育や世代を超えた文化継承の活動等、地域の特性に応じた教育及び文化の振興に関する取組の支援

国指定重要無形民俗文化財

奄美群島内には国指定重要無形民俗文化財が4つ存在



諸鈍芝居(加計呂麻島)



秋名のアラセツ行事(奄美大島)



与論の十五夜踊(与論島)



与論の芭蕉布製造技術(与論島)

出典: 鹿児島県HP

シマロ等文化の継承

ユネスコが平成21年に発表した“Atlas of the World's Languages in Danger”で消滅の危機にあるとされた8言語・方言

	アイヌ	八丈	奄美	国頭	沖縄	宮古	八重山	与那国
危機度	極めて深刻	危険	危険	危険	危険	危険	重大な危険	重大な危険

出典: 文化庁HPより特別地域振興官作成

※【絶滅】【極めて深刻】【重大な危険】【危険】【脆弱】【安全】の順に危機度が高いとされる。

※奄美・・・奄美大島、喜界島、徳之島

国頭・・・沖永良部島、与論島、沖縄本島北部

【奄美市立市小・中学校におけるシマロ伝承活動の取組】



方言タイムでのシマロ練習



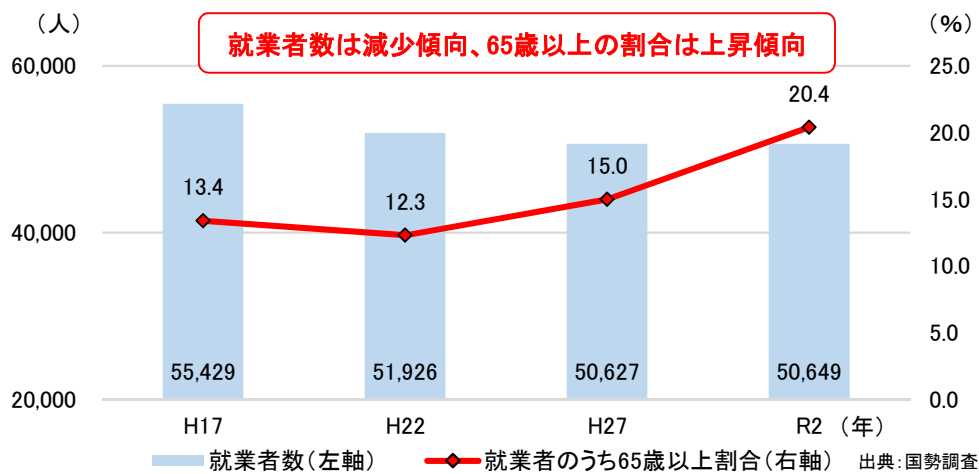
三味線練習

出典: 鹿児島県HP

主な論点 (8) デジタル技術の活用

○産業の担い手の高齢化や就業者の減少に対応するため、スマート農業や遠隔医療等、様々な分野におけるデジタル技術の導入

就業者数と就業者のうち65歳以上の割合



取組事例

ドローンによる薬剤散布 (天城町)



出典: 天城町提供

VR動画による観光誘客 (奄美市)



出典: 奄美市提供

ICTを活用した遠隔合同授業 (徳之島町)



出典: 徳之島町提供

ドローンによる日用品・医薬品の配送 (瀬戸内町)



出典: 瀬戸内町提供

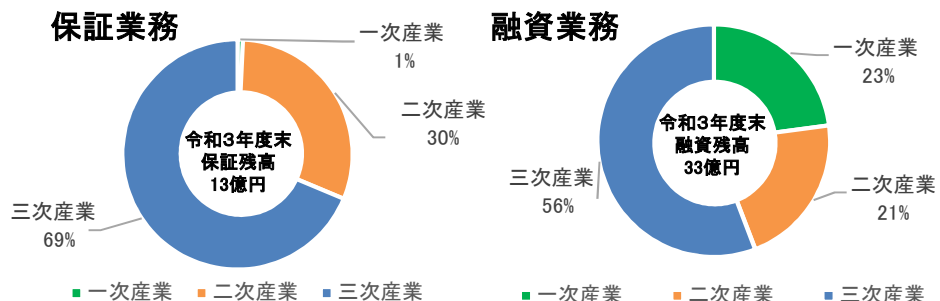
主な論点 (9) 奄美群島振興開発基金

○地域に密着したきめ細やかな対応のできる政策金融機関として、業務内容の充実と地域課題解決に向けた取組の強化

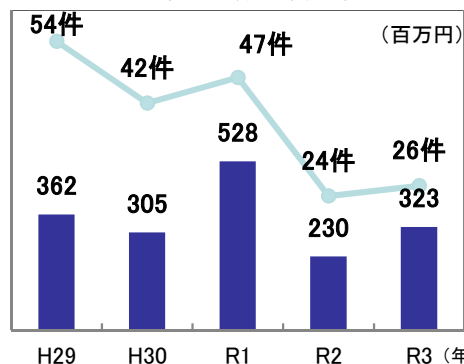
保証・融資状況

○第1次産業から第3次産業まで、奄美群島の中小零細事業者に対する金融面からの支援(保証・融資)を実施

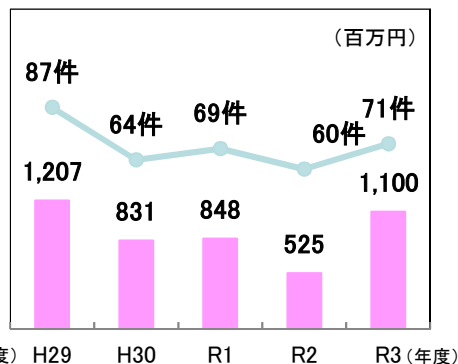
○奄振交付金を活用した利子補給事業により、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた事業者を支援



保証件数と金額(年度別推移)



融資件数と金額(年度別推移)



業務内容の充実、地域課題解決に向けた取組

○「公益財団法人かごしま産業支援センター」と覚書を締結し、中小企業の課題解決を支援

○行政・地元金融機関と連携して「地域経済循環分析研究会」を開催

○県大島支庁と連携して職員向けの「農業研修会」を開催

○「あまみ創業塾」に講師を派遣し、創業へ向けた資金繰りや貸借対照表、損益計算書等の財務分野の講義を担当



「あまみ創業塾」の講義風景

奄美基金提供